

群馬県警生活安全部長から感謝状を拝受

～警察と連携した各種防犯の取り組みを評価～

日本損害保険協会関東支部 群馬損保会(会長:遠藤 英嗣・あいおいニッセイ同和損害保険株式会社群馬支店長)では、日頃より県内の安全安心な街づくりに資する取り組みとして、防犯活動に取り組んでいますが、今般、こうした取り組みにより警察の業務運営に貢献をしたとして、群馬県警察本部生活安全部長から感謝状が授与されました。

群馬県内では、2022年6月、2023年8月の相次ぐ降ひょうにより、住宅や車等に多くの被害があり、災害に便乗した業者による悪質な住宅修理の勧誘が問題となっていました。そこで、群馬損保会では、群馬県や県警と連携し、こうした業者に対する啓発チラシを作成し注意喚起を行っています。

また、最近では北関東を中心に、太陽光発電施設の銅線ケーブル等の金属盗難が急増しており、群馬県内でも、2023年10月時点の盗難被害件数が前年比で約9倍の約850件となっています。こうした状況を踏まえ、群馬損保会では群馬県警と連携して、太陽光発電施設の銅線ケーブル盗難を注意喚起するチラシを作成のうえデータで提供し、発電所オーナー等に注意を呼び掛きました。

本件は、これらの取り組みが評価され、感謝状が授与される運びとなったものです。

2月20日(火)前橋市内のホテルにおいて感謝状の授与が行われ、群馬県警生活安全部の新井参事官兼生活安全企画課長から遠藤会長に感謝状が手渡されました。新井生活安全企画課長からは、「防犯対策については、官民が力を合わせて粘り強く取り組んでいくことが必要であることから、群馬損保会の協力は大変心強く感謝している。」とのコメントがあり、これに対し遠藤損保会長からは、「今後も県内の安全安心のために警察と連携しながら頑張って参りたい。」旨を伝えました。

群馬損保会では、今後も警察や行政と連携し、安全安心な街づくりに向けた取り組みを継続して行ってまいります。



感謝状拝受の様子



(左) 新井生活安全企画課長 (右) 遠藤損保会長

